

# 小学部三年D組

わたしと春たち

春の花ばたけに  
くんくん くんくん  
花のおい  
なんだかおちつく花ばたけ  
春の花ばたけに  
さわさわ さわさわ  
春風が  
なんだかおちつく花ばたけ  
春にかこまれて  
春がいい気持ちをもってくる

林田 英美里

## 秋のくらし

秋がきた  
かきを食べる  
かききき  
りんごを食べる  
りんごー  
くりが木から落ちる  
ぶどうがいつぱいなる  
さつまいもいつぱい食べる  
秋の風

秋の風が やってきた  
風が 風が やってきた  
木の葉っぱは とんでった  
草がしゅーっと ゆれている  
風が 風が いっちゃった  
きつと明日も また会える



ヘンダーソン チェルシー



フアーガソンステガー 彩花

ぶどう

ぶどうは丸い

ころころころ

むらむらぶどうは

ふつうだよ。

秋の声

風がほうほう 言ってるよ

色とりどりの

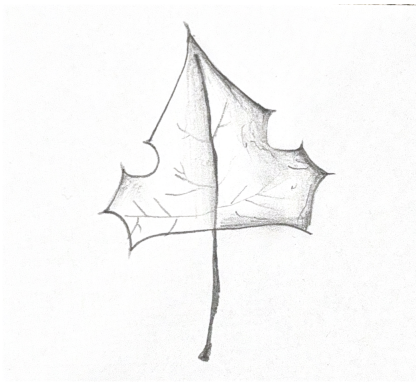
もみじたち

ふんで ふんで

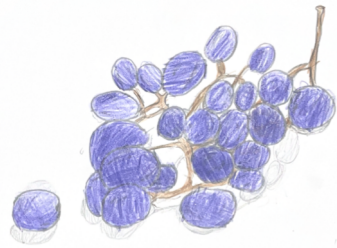
しやりしや しやりしや

冬がせまって

おびえる声



ホワング ノア



坂本 実里

漢字をがんばります

漢字をあかねこでがんばって、うれしいです。

テストをする時、漢字を書くのがうれしいです。だからわたしは、漢字をがんばると決めました。

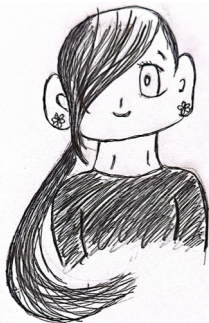
先生と漢字をする時は、楽しいです。

こんなやさしい先生がいて、うれしいです。

大人になって、ふじ田先生をわすれてしまったら悲しいです。

ふじ田先生がいたら、漢字がもっと楽しいです。

マツコイ ライリー 桜



カンクン旅行

荻野 航暉

ぼくは、海がすきです。毎年、夏になると、家族みんな、かならず海へ泳ぎに行きます。ただし、きれいな海だけにしか、行きません。今年の夏は、日本に帰った時、おきなわに行き、海で泳ぎました。そして、ヒューストンに帰って来てからも、あのきれいな海をわすれられなくて、今年のサンクスギビングは、家族みんな話して、またきれいな海があるところに行こう、ということ、メキシコのカンク

ンに行くことになりました。

出発の日は、朝の四時に起きました。とても楽しみにしていたので、その前の夜からほとんどねむれませんでした。けれども、海で泳ぐ楽しみが勝っていたので、平気でした。

昼すぎにカンクン空港に着いて、おそめの昼ごはんを食べ、さっそく海で泳ぎました。とても気持ちよかったけれど、カンクンのさらさらのすなが水着の中に、大りように入ってしまったので、それだけがさんねんでした。

そして、今回の旅行で楽しみにしていたのが、ピラミッドに行くことです。その大きさや形、何でそれがたてられたのかなど、実さいに見て、聞いて、勉強することができ、さいしょはむずかしかったけれど、さい後はとてもいい思い出になりました。

海で泳ぐだけではなく、そのほかにプールで泳いだり、おいしいごはん、とくにスモークサーモンを、朝と昼どちらもずつと食べつづけたりして、いい思い出をたくさん作ることができました。もう一度、あのきれいな海で、泳ぎたいです。

### 夏休みの思い出

岸川 晃久

ぼくは、夏休みに家族でニューヨークと日本に行きました。まずさいしょにニューヨークに行きました。

一日目は夜にとう着をしたので、ホテルに行ってゆつくりしました。二日目は、自由の女神を見に行きました。ちょうどげん地校で自由の女神の勉強をしていたので、実物を見ることができてうれしかったです。ぼくが想像していたよりも大きくてびっくりしました。そこで食べたニューヨークピザがとてもおいしかったです。

三日目は、タイムズスクエアを見に行った後に、アメリカ自ぜんし

はく物館に行きました。きょうりゆうのコーナーは、とても大きな化石がてんじされていて、とてもはく力があって楽しかったです。はく物館の後にセントラルパークに行きました。この日はどく立記ねん日だったので、夜に花火を見に行きました。たくさんの方がいましたが、花火はよく見えました。

さい後の日は、買い物やお母さんの食べたがっていたグリルドチーズを食べに行きました。とてもおいしかったです。

ヒューストンにもどると、次の日から日本に行くのでじゅんびをしました。ひさしぶりの日本だったので、ぼくはとてもどきどきしていました。長い時間、ひ行きの中ですごしてとてもつかれたけれど、日本に着いたときはとてもうれしかったです。日本では千葉に住んでいるおじいちゃんとおばちゃんと親せきに会いました。それと、神奈川県（かながわ）県にある、普通っていた小学校にも一週間だけ通いました。ひさしぶりに会う友だちといっぱい遊んでとても楽しかったです。他にも、お父さんの育った長崎（ながさき）にも行き、そこで親せきに会いました。また、福岡（ふくおか）に引っこしてしまった親友が長崎に来てくれて、ひさしぶりに会うことができました。

日本でいっぱい遊んでいっぱい食べて楽しい夏休みになりました。

### 夏休みの思い出

橋本 ジェームス龍

ぼくは、夏休みに日本へ行きました。お母さんとお兄さんと妹とぼくで行きました。行きのひ行きでたまたま友だちと会いました。ほしゅう校の友だちです。ひ行きのなかで友だちとあそびました。

日本についたあと、ホテルにとまりました。ホテルには、コンビニがあつて、そこがすごくよかったです。ぼくがコンビニで好きなものは、うまいぼうとガリガリくんです。

そのあと、ならへ行ききました。ならでは、おばあちゃんの家へ行き  
ました。おばあちゃんの家から日本の学校にかよいました。日本の学  
校のしゅくだいは、もつとむずかしいので大きらいです。でもやりま  
した。

日本の学校には、ちがう友だちがたくさんいます。外であそぶのが  
いちばん大すきです。友だちの一人がくわがたをくれました。すぐく  
うれしかったです。

八月になってアメリカにかえりました。また日本へ行きたいです。

## ユニバーサルスタジオジャパン

古川 椿

わたしは、お母さんとお姉さんとはあばとユニバーサルスタジオジ  
ャパンに行きました。さいしよに名たんでいコナンのジェットコース  
ターをお母さんとお姉さんが待っていたら、雨の日なのでジェットコ  
ースターが止まってしまいました。わたしとはあばは待っていたので、  
お母さんからラインで「ジェットコースターが止まりました。」とれ  
んらくが来た時はびつくりしました。お母さんがジェットコースター  
の所で集合しようと言ったので、わたしとはあばは歩いて向かい、や  
つと集合できました。そして、お姉さんがハリーポッターの乗り物に  
乗りたいと言ったので、みんなでハリーポッターの場所に行きました。  
みんなでその乗り物に乗ったら、わたしはぶんぶん動くのがきらいな  
のでなきました。その後、ハリーポッターのお店でお昼を食べました。  
それからミニオンの所へ行ききました。ミニオンのアイスレースにお  
姉さんといっしょに乗りました。次に、ミニオンのぐるぐる回るやつ  
に乗ってわたしは本当にいやでした。

さい後に、お姉さんとお母さんがジュラシックパークのフライング  
ダイナソーに乗りました。お姉さんはとても楽しかったと言っていま

したが、お母さんはげん界と言っていました。そしてお母さんは気持  
ちわるくなりました。わたしの中で一番楽しかったのは、名たんでい  
コナンのなぞときです。なぜかと言うと、わたしはなぞときが苦手だ  
けれどわたしもとけたのでうれしかったからです。なぞときが苦手な  
人でもできるようになっていきます。とても楽しかったです。また行き  
たいです。

前期でがんばったことと後期でがんばりたいこと

島津 奏汰

ぼくは、前期の勉強で算数を一番がんばりました。毎日家で、算数  
の教科書を使ってたくさん勉強をしたり、プリントをしたりしていま  
した。毎日勉強したので、テストでは九十五点を取りました。百点は  
取れませんでした。自分のけいけんになり、自分でもよかったと思  
いました。それで、後期に入る前のテストでは、勉強したおかげで、  
百点まん点を見事に取りました。後期に入っても、前期よりもつと  
つと勉強して百点まん点をかならず取り、中学生にもなっても、算数  
が一番がんばりたいじゅ業なので、毎日毎日勉強したいと思っていま  
す。算数では、もう少し分数を勉強したいと思います。どうしてかと  
いうと、前回の分数のテストでは、おしくも八十九点だったからです。  
お母さんは、テストの点数ではなくて自分がどれだけがんばったかが  
大切、と言っていました。だから、算数はとく意ですが、分数はもう  
ちよつと勉強したいと思っています。

後期でがんばりたいのは漢字です。三年生になったら、どんどんど  
んどんむずかしい漢字が次々と出てきますが、とくにむずかしい漢字  
は、くさかんむりがついている漢字でした。むずかしかったので、家  
で毎日たくさん勉強をしました。いくらがんばってもテストでは、  
七十七点を取ってしまいました。その点数を見てぼくはとつてもくや

しかったですが、くさかんむりがつく漢字の答えは、全て合っていましたし、一番むずかしいじゅ業なのに、テストで五十点より上だったのはものすごくおどろいて、とつてもうれしかったです。くさかんむりの漢字はもうなれましたが、後期に入ってから、新しい漢字がどんどん出てきているので、家だけじゃなくて学校でもなるべく新しい漢字を使い、漢字テストでもたくさん百点まん点を取り、漢字がもつともつとうまくなりました。

漢字の中でも、まだれがついている漢字はかんたんだと思います。でも、漢字のまとめをやる日、なぜか間ちがつているのが二つぐらいありました。その時ぼくは、シヨックでした。どうしてかというところ、これまでスラスラと書いていた漢字なのに、まとめで間ちがえてしまつて、とつてもくやしかったです。

来年も、さ来年もぼくは漢字を勉強して、たくさんおぼえたいと思います。

「ちいちゃんのかげおくり」を読んで

高橋 菜々瑞

わたしは、ほ習校の国語のじゅ業で、「ちいちゃんのかげおくり」を読みました。このお話は、ちいちゃんのお父さんがせんそうに行き、空しゅうでお母さんやお兄ちゃんとはぐれて、一人になったちいちゃんがおなかを空かせながら命を落としてしまうお話です。

はじめて音読をした時、むねが苦しくなり、なみだが出そうになりました。国語の教科書に、どうしてこんなに悲しいお話がつているのだろうと思いました。

ちいちゃんのような小さな子どもが、せんそうのために、おなかいっぱいごはんを食べることもできず、家族といっしょにくらすこともできなくなり、こわい思いをしながら命を落としてしまうことを、と

てもつらく感じました。わたしたちが毎日ごはんを食べて、学校に行き、家族や友だちとえ顔ですごせることは、当たり前ではないのだと思います。

「ちいちゃんのかげおくり」の音読の宿題を、父や母に聞いてもらった時、父や母もわたしと同じ小小学三年生のころに、日本の小小学の国語のじゅ業でこのお話を読み、なみだが出そうになり、悲しい気持ちになったと話してくれました。

でも、そのころは、父も母も「せんそうが終わってよかった。日本は平和になってよかった。」と思つたそうです。

「ちいちゃんのかげおくり」のさい後のページで、せんそうが終わつてから何十年もたち、たくさんのお家が作られ、ちいちゃんがかげおくりをした場所が、今は公園になっていて、青い空の下、子どもたちがきらきらしたわらい声を上げながら遊んでいる場面を読み、わたしもはじめは父や母と同じように、今の日本は平和になったのだな、よかったなと思いました。

しかし、テレビやニュースを見ると、世界中で今もせんそうやあらそいがつづいている国や地いきがたくさんあります。空しゅうやばくだんのこうげきでまちや家がこわされ、ちいちゃんのように、こわい思いをしながら生活している子どもたちが、今もいるのだと思うと、とてもつらくて悲しい気持ちになります。

そして、わたしが今住んでいるアメリカには、ちいちゃんのお父さんのようにせんそうに行つたことのある人や、ちいちゃんの家族のように大事な人をせんそうがおこつている場所に見送つたことのある人が、たくさん住んでいます。せんそうは今も起きていることで、昔のことではないのだと感じました。

今は昔よりも、たくさんのおこがべんりになって進化しているのに、どうして新たなせんそうが起きてしまうのだろうと考えました。どんなに考えても、わたし一人では、せんそうを終わらせることはできないかもしれません。でも、世界中のたくさんのおこがべんりのかげおくり」のようなお話を読んで、せんそうは悲しいことだと知り、

平和をねがう人が少しでもふえていくことが大切なのだと思います。

「ちいちゃんのかげおくり」は、とても悲しいお話ですが、せんそうのこわさや、平和の大切さを教えてくれます。だから、何十年もかわらないで国語の教科書にのっているのかもしれないと感じました。

わたしが大人になったときには、「ちいちゃんのかげおくり」のさい後の場面のように、世界中の子どもたちみんなが、青い空の下で、きらきらしたわらい声を上げて遊べるようになってほしいです。

そして、「ちいちゃんのかげおくり」を読んだ小学三年生の子どもたちが、「昔は世界中でせんそうがあつたけれど、今はみんなが平和にくらせる世界になってよかつたね。」と思えるような未来になってほしいです。わたしも、ずっと平和を大切にできる人になりたいと思います。

「ちいちゃんのかげおくり」を読んで

西井 智也

わたしは「ちいちゃんのかげおくり」というお話を読みました。このお話は、ちいちゃんが家族で楽しくかげおくりをしていましたが、せんそうが進んで家族がはなればなれになって、さい後にはちいちゃんが死んでしまうというお話です。

わたしは、ちいちゃんが死んでしまったということが、とても悲しくていんしょうにのこりました。なぜならちいちゃんはまだ子どもなのに死んでしまったからです。今のわたしのまわりではせんそうがなくすぐに水が飲めるけど、ちいちゃんが住んでいた世界はひどいせんそうがあつて苦しかったんだなと思いました。

わたしはこのお話からせんそうは小さい子どもの命をうばうとてもひどいものだど学びました。

楽しかった運動会

竹田 柊花

きのうはヒューストン日本語習校の運動会でした。天気は暑すぎず寒すぎず、ちょうどよい天気でした。午後の上級生の時間は、ちょうど雨がふってきたところでしたが、運動会はさい後までできました。わたしがまずさいしょにさんかしたきょうぎは、大玉送りでしたが、さんねんながら〇対三で負けてしまいました。その後は、ようち園生、一年生、二年生、三年生ときょうぎがつづきました。三年生のきょうぎは、「なかよくフラフープ」です。これは、男女でペアになってちがう方向に走って、ぼうを一しゅう回つた後、フラフープをペアで持ちながらテープをどびこえたり、くぐったりして、ゴールまでいっしょに走ります。さんねんながら、これも四いになってしまいました。すぐくくやしかつたけれど、チームはとてがんばつたと思います。けっ局、わたしたちの白組は勝つことができました。来年こそ、自分のきょうぎでは一いを取りたいです。四年生になったら、チームのために全力で一いを目指します。

運動会の思い出

池田 陸斗

十一月一日には習校のグラウンドで運動会がありました。ぼくは大玉送りとなかよくフラフープに出ました。出番ではないときには友だちといっしょに大きな声で、他の学年のこともおうえんしました。他の学年も三年生のことを応援してくれてうれしかったです。

ぼくの出たきょうぎの中で一番心にくつたものは、大玉送りです。調子がよいときはころころとスムーズに行きましたが、つまってしま

うとおそくなりました。一回目は、ぼくの前の方からいきおいよくボールがとんできてびっくりしましたが、二回目はころころ流れて後ろにつなげやすかったです。赤組はずっとつまらずに行っていたので速かったです。負けてしまいましたが全力で取り組むことができて楽しかったです。

なかよくフラフープでは、少しどこを回るかまよっておそくなってしまうましたが、ペアの子と合流した後にテープをくぐったりジャンプしたりするところでおいこして、二いでゴールすることができました。いいチームワークのおかげでいいかけっかになりました。

白組は勝ちましたが大玉送りは負けてしまったので、来年は玉の動きに合わせて列と列を広げて玉がスムーズに通るように調整をしながらきょう力して勝ちたいです。

### 三年目の運動会

横山 怜

わたしが運動会で楽しかったことは、なかよくフラフープです。なぜかというと、当日急に、二回走ることになったからです。

また、ちがう学年の友だちとテントでとなりにになったことと、手作りのメガホンで大きな声でおうえんしたことも楽しかったです。

わたしが一番心にくったことは、なかよくフラフープの時に、一回せん目も二回せん目も、二いを取ったことです。一年生の時と、二年生の時はどちらも四いでしたが、三年生ではじめて二いを取れてとてもうれいんです。たぶん、前の日に妹とたくさん走って遊んだからでしょう。二回目に走る時には、スタートラインで足がぶるぶるとふるえていました。一回せん目に全力で走ったので体がつかれきっていました。また一生けん命がんばって走ったので、二回せん目も速く走れました。一いが取れなかったことはくやしけれど、一年目や

二年目よりもずっとよくなっているの、すぐよかったです。来年は、もっと練習して今度は一いを取ってみたいです。練習時間は少なかつたけれど、みんなできょうぎをきちんとすることができて、うれしかったです。

また、今年は私の妹がリレーのせん手だったので、来年はリレーのせん手になってみたいです。来年の運動会が待ち遠しいです。

### カリフォルニア旅行

柏原 惟花

わたしは、ほ育園のときからの友だち家族とサンクスギビングのお休みで、カリフォルニア旅行に行きました。さいしよに、ひ行きに乗って三時間かけてラスベガスに行きました。

日本から来た友だちとは、ラスベガスの待ち合わせ場所で合流するはずだつたけれど、れんらくがつかなくてこまつていました。しばらく後に電話をかけると、やっと出てくれました。「やったー、つながつたー。」とわたしが言いました。

ぶ事に合流した後、町をたんけんして、コカ・コーラのお店とエムアンドエムのお店も行きました。そこでのコーラとチョコはとてもおいしかったです。

わたしはカリフォルニアでもっといろいろな場所に行きました。まず、ザイオン国立公園とホースシューベントに行きました。次に、グランドキャニオンに行きました。グランドキャニオンはとても寒かつたです。山の上から見る景色はきれいでしたが、少しこわかつたです。がけの近くでジャンプをして写真をとつたのが楽しかつたです。

その後、ロサンゼルスの子イズニールランドに行きました。子イズニールランドには、友だちのアメリカ人の友だちともいっしよに行きまし

た。ジェットコースターが大すきなので、アトラクションにたくさん乗りました。スペースマウンテンが一番すきでした。とても楽しかったです。

次の日は、ドジャーススタジアムにも行きました。ツアーにさんかして、大谷せん手を使うカフェテリアやグラウンドに行きました。スタジアムの中は、どこに行っても広がったです。

さい後の日は、友だちを見送ってから、家族でサンタモニカに行きました。レンタカーを返す前に行ったガソリンスタンドで、ホームレスに車をたたかれてこわかったです。

カリフォルニアは、たくさん遊べて、楽しいところでした。

#### うちゅうセミナー

貞光 航太郎

十二月十三日、うちゅうひ行しの大西さんからうちゅうについてお話を聞きました。

大西さんは二〇一一年JAXAのうちゅうひ行しになりました。大西さんが三十五才の時でした。それから五年後、大西さんはソユーズといううちゅう船に乗って、はじめてうちゅうに行きました。それから九年たった二〇二五年に二回目のフライトで国さいうちゅうステーションに行きました。

国さいうちゅうステーションはとても大きく、その大きさはサッカー場一つぐらいの大きさです。そして、その速さは秒速八キロメートルで動いて一日に地球のまわりを十六回も回っています。つまり、お日さまと月が一日に十六回、一時間半に一回のぼります。うちゅうにいる間にトイレに行く場合は、そうじきみたいいな物を使うそうです。なぜならばうちゅうには重力がないからです。そのため長い間うちゅうにいと、地球にもどったときに歩くのがへたくそにな

るそうです。

そのような話を聞いて、ぼくもうちゅうに行ってみたいなあと思いました。もしうちゅうに行ったらうちゅうから地球を見てみたいし、む重力を体けんしてみたいです。ただし、それはまだ先の話なので、まずうちゅう図かんや「うちゅう兄弟」を読んでうちゅうのことをもっと知りたいです。

#### うちゅうセミナー

横山 景祐

キャプテンの大西たくやさんの話を聞きました。大西さんの少年時代は、とくにうちゅうにあこがれていました。それから、大学時代はパイロットになり、二〇一一年七月にやつとうちゅうひ行しになれて、本人自身もうれしかったそうです。そして、二〇一六年はじめてうちゅうにとび立ち、やく二日間も住んで、はじめてうちゅうひ行をたっせいした時はきんちようしたと思いますが、それを乗りこえてすごいと思いました。

また、二〇二五年にクルードラゴンといううちゅう船に二百六十五日間も住んでいたなんて、二百六十五日間住んだらうちゅうにあきないのかなと思いました。そして毎日、運動き具を使用して運動しているそうです。それを聞いて、毎日してつかれないのかなと思いました。

さい後に、うちゅうにはかんたんな仕事だけじゃなく実けんなどの大へんな仕事もあってびっくりしました。いろいろなうちゅうについての話を聞いて、大きなけいけんは地球ではあまりできないので大西さんがうちゅうにあこがれていたことが分かりました。